

修正
A

山田公民館を改修 地域拠点として整備

概要

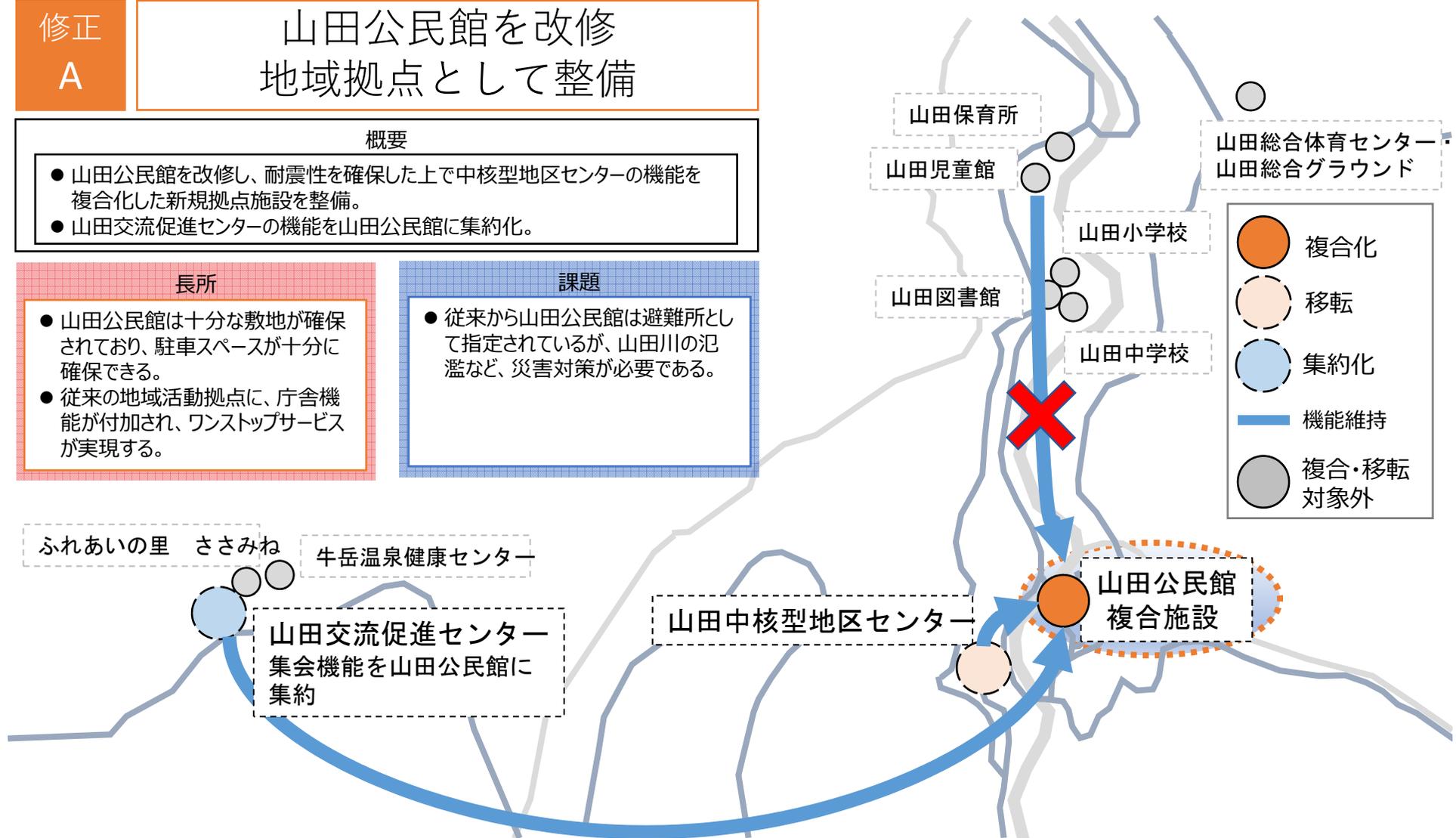
- 山田公民館を改修し、耐震性を確保した上で中核型地区センターの機能を複合化した新規拠点施設を整備。
- 山田交流促進センターの機能を山田公民館に集約化。

長所

- 山田公民館は十分な敷地が確保されており、駐車スペースが十分に確保できる。
- 従来の地域活動拠点に、庁舎機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

課題

- 従来から山田公民館は避難所として指定されているが、山田川の氾濫など、災害対策が必要である。



- 複合化
- 移転
- 集約化
- 機能維持
- 複合・移転対象外

ふれあいの里 ささみね 牛岳温泉健康センター
山田交流促進センター
集会機能を山田公民館に集約

山田中核型地区センター
山田公民館 複合施設

第3回ワークショップからの修正点

- 山田児童館は、複合化を検討するが、当分の間、現状の配置のまま維持する。

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）

B

山田中核型地区センターを改修 地域拠点として整備

概要

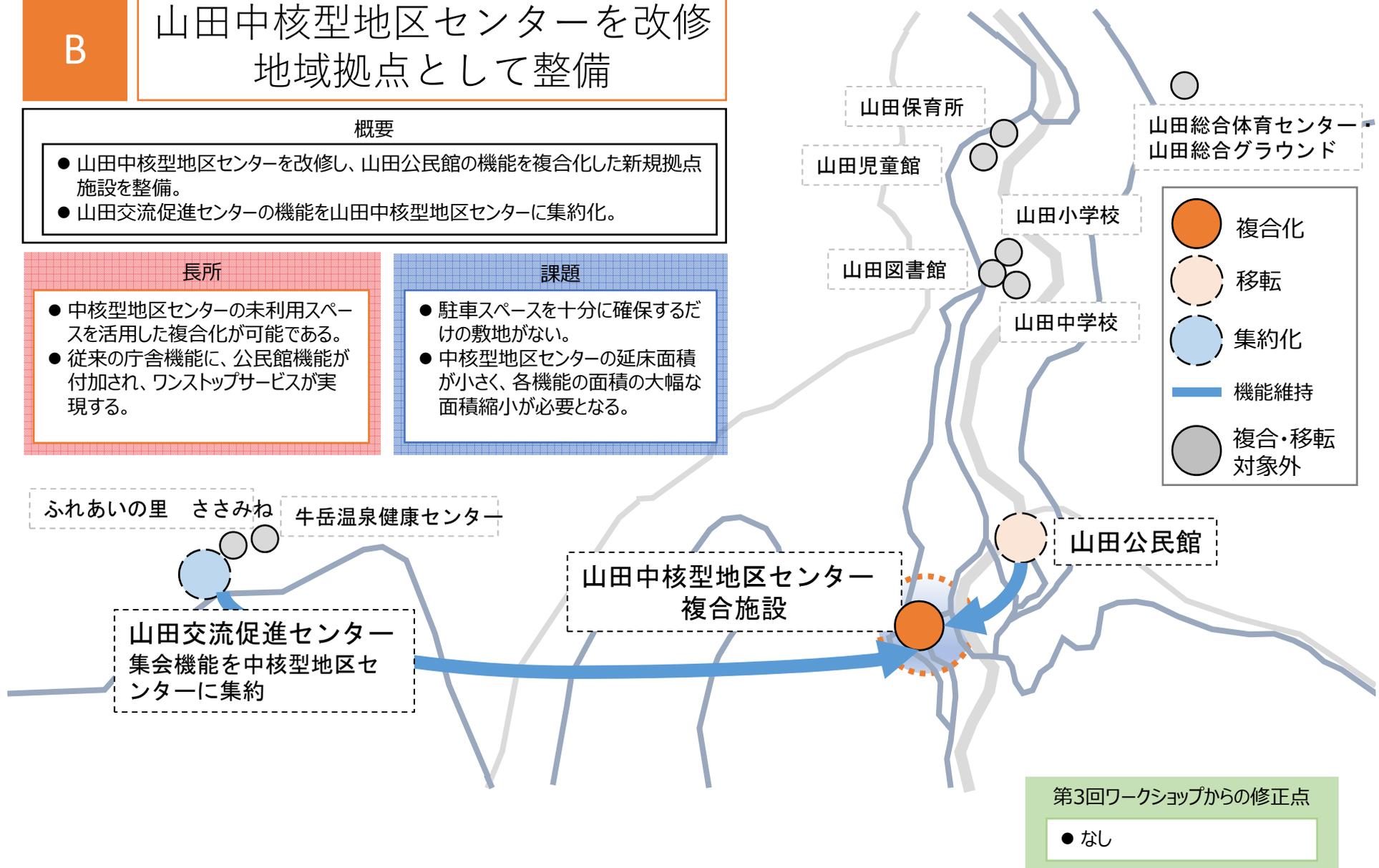
- 山田中核型地区センターを改修し、山田公民館の機能を複合化した新規拠点施設を整備。
- 山田交流促進センターの機能を山田中核型地区センターに集約化。

長所

- 中核型地区センターの未利用スペースを活用した複合化が可能である。
- 従来の庁舎機能に、公民館機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

課題

- 駐車スペースを十分に確保するだけの敷地がない。
- 中核型地区センターの延床面積が小さく、各機能の面積の大幅な面積縮小が必要となる。



第3回ワークショップからの修正点

- なし